

# 美術

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
9	開隆堂出版	開隆堂◆	美術 701・801	A4 変形 188	令和2年
38	光村図書	光 村	美術 702・802	A4 184	
116	日本文教出版	日 文◆	美術 703・803・804	A4 変形 198	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

中学部 美術(視覚障害特別支援学校)

	発行者	開隆堂	光村	日文
内容	<p><b>1 視覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</b></p> <p>①視覚以外の感覚(触覚や全身の皮膚感覚、音の聞き分け等)を活用して表現するもの。</p>	<p>☆☆☆ 4</p> <p>①1年「写し取る形」では、身の回りのものに紙をのせて写し取る活動があり、触覚等を活用して表現することができる。(P14)</p>	<p>☆☆☆☆ 5</p> <p>①1年「形や材料を比べてみよう」では、カップを例に、形の工夫や材料の性質を生かした使い方を考える活動があり、触覚等を活用して表現することができる。(P50)</p>	<p>☆☆☆☆ 6</p> <p>①1年「材料に命を吹き込む」では、形や質など、材料の特徴に着目してイメージを膨らませる活動があり、触覚等を活用して表現することができる。(P20)</p>
	<p><b>2 視覚障害への配慮を要する内容等について</b></p> <p>①絵画等の鑑賞などを通して表現する活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。</p> <p>②道具等を使用する活動の際に、安全面での配慮が必要とされるもの。</p>	<p>★★★ 17</p> <p>①2・3年「錯視の効果を生かして」では、錯視の効果を活かし、視線を引きつける活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P68)</p> <p>②1年「木を暮らしに生かす」では、電動糸のこぎりや小刀で加工する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P49)</p>	<p>★★★ 18</p> <p>①2・3年「あかりがつくる空間」では、光の効果を考え、材料の特徴を生かして空間を演出するあかりを作る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P66)</p> <p>②1年「木と親しむ暮らし」では、材料を小刀で加工する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P55)</p>	<p>★★★★ 24</p> <p>①2・3年下「きらめきゆらめき」では、生活の中の光の変化に着目し、絵の具などの特性を生かして表現する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P21)</p> <p>②1年「刷って出会う楽しさ」では、板を彫刻刀で彫る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P25)</p>
構成上の工夫	<p><b>障害の状態に応じた事項、その他</b></p> <p>①文字・図版が鮮明であるもの。</p>	<p>①1年「伊藤若冲の世界」では、折り込み見開きページに大きく作品を掲載している。(P25-28)</p>	<p>①1年「風神雷神」では、折り込み見開きページに大きく作品を掲載している。(P30-35)</p>	<p>①2・3年上「浮世絵はすごい」では、折り込み見開きページに大きく作品を掲載している。(P26-29)</p>
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

中学部 美術(聴覚障害特別支援学校)

	発行者	開隆堂	光村	日文
内容	<p>1 聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</p> <p>①色や形の構成など、視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。</p>	<p>☆☆☆☆ 13</p> <p>①1年「形と色彩のメッセージ」では、身の回りにあるものの形と色彩との組み合わせを工夫して表現する活動があり、視覚的な方法を活用した学習活動が工夫できる。(P36)</p>	<p>☆☆☆☆ 12</p> <p>①2・3年「地域の魅力を伝える」では、色や形を工夫して、自分が住む地域の魅力が伝わるようなデザインを考える活動があり、視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できる。(P70)</p>	<p>☆☆☆☆ 14</p> <p>①2・3年上「ジジジチカピカポッポッパツ」では、光の形や色彩に着目して、あかりをデザインする活動があり、視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できる。(P36)</p>
	<p>2 聴覚障害への配慮を要する内容等について</p> <p>①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。</p>	<p>★ 0</p> <p>①該当なし</p>	<p>★★★★ 2</p> <p>①1年「見えないものをあらかず」では、音楽を聴いた時の気持ちや、言葉から受ける印象から発想を広げて表現する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P26)</p>	<p>★★ 1</p> <p>①2・3年下「漫画の魅力」では、擬声語に着目して、漫画の表現の効果を捉える活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P16)</p>
構成上の工夫	<p>障害の状態に応じた事項、その他</p> <p>①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。</p>	<p>①2・3年「版表現の可能性」では、ドライポイントの技法の手順を、写真で示している。(P27)</p>	<p>①2・3年「今の自分、これからの自分」では、作品の作成過程を、写真やイラストで示している。(P46)</p>	<p>①1年「墨と水の出会い」では、墨の濃淡や筆の線の勢いなど様々な技法を、写真で示している。(P22)</p>
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

中学部 美術(肢体不自由・病弱特別支援学校)

	発行者	開隆堂	光村	日文
内容	<p><b>1 肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる单元等について</b></p> <p>① ① 上肢の操作を伴うものであっても、実際に表現できる内容が示されているもの。</p>	<p>☆☆☆☆ 29</p> <p>① 1年「焼き物をつくる」では、粘土を使って自由に形を変化させる活動があり、上肢の操作を伴うものであっても、表現することができる。(P46)</p>	<p>☆☆☆ 26</p> <p>① 1年「材料に命を吹き込む」では、身近な材料を自由に組み合わせて生き物などに見立てる活動があり、上肢の操作を伴うものであっても、表現することができる。(P29)</p>	<p>☆☆☆☆ 35</p> <p>① 2・3年上「構図に思いをのせて」では、デジタルカメラやタブレット端末等を用いて写真を撮る活動があり、上肢の操作を伴うものであっても、表現することができる。(P18)</p>
	<p><b>2 肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について</b></p> <p>① ① 上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。</p> <p>② ② アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。</p>	<p>★★★★ 5</p> <p>① 2・3年「織る、編む、組む」では、紐を織ったり、編んだりする活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P85)</p> <p>② ② 該当なし</p>	<p>★★ 2</p> <p>① 2・3年「躍動感を捉える」では、針金で骨組みをつくり、麻ひもを巻き付けて人の動きを表現する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P40)</p> <p>② ② 該当なし</p>	<p>★★★ 3</p> <p>① 1年「暮らしの中の木の工芸」では、小刀などを用いて木を加工する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P50)</p> <p>② ② 該当なし</p>
構成上の工夫	<p><b>障害の状態に応じた事項、その他</b></p> <p>① ① 体験の不足等を補えるように、図版が鮮明で理解がしやすいもの。</p>	<p>① ① 2・3年「祈りの造形、仏像の美」では、様々な仏像の写真を、解説とともに示している。(P54-55)</p>	<p>① ① 2・3年「心安らぐ場をつくる」では、各地の建造物の写真を、解説とともに示している。(P74-75)</p>	<p>① ① 2・3年下「日本の世界文化遺産」では、日本各地の世界文化遺産の写真を示している。(P52)</p>
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり